

新病院情報

新築移転に向けて取り組んできた基本設計が平成27年10月に完了し、新病院イメージ図が完成しました。今後は、院内各部門とのヒアリング等を踏まえ、詳細な平面レイアウトや電気、ガスなどの設備について検討する実施設計へと進み、平成31年3月の開院を目指します。



基本方針

① 高いBCP性能を確保する全体計画

- ◇ 地震災害や水害時下でも病院機能を維持できる設備/構造の実現
- ◇ あらゆるインフラ遮断を想定したエネルギー供給の多重化とバックアップ設備の確保

② 将来変化に強い柔軟な病院骨格の整備

- ◇ 診療部門特性に応じた平面計画の自由度を高める大スパン空間を実現
- ◇ 将来のニーズ変化に対応する改修や機能変更を容易にする設備計画

③ 患者と職員に選ばれるやさしい病院環境の整備

- ◇ 患者にとって分かりやすい動線計画と快適なアメニティスペースの整備
- ◇ 働きやすい職場環境の実現と充実した職員厚生機能の整備

④ 過不足のない効率性と経済性を両立する建築計画

- ◇ 非効率な廊下共用スペースを省いた動線効率の高い平面計画の実現
- ◇ 機能やスペースの共有化や連携性を重視した面積効率の高い部門計画の実現

建築概要

- | | | | |
|-----------|--------------|-------------|---------------------|
| ・ 場 所 | 高知県高知市秦南町1-4 | ・ 延 べ 面 積 | 約33,278㎡ |
| ・ 病 床 数 | 402床 | ・ 階 数 ・ 高 さ | 地上8階 42.5m |
| ・ 診 療 科 | 20科 | ・ 構 造 種 別 | 免震構造・SRC造、一部S造 |
| ・ 敷 地 面 積 | 約29,000㎡ | ・ 駐 車 場 設 備 | 600台(屋外300台 立体300台) |

8F) 5F	井型病棟とすることで、共用部面積を最小に抑えました。特室はユニットシャワー付とし、眺望に配慮した病室としています。	
4F	管理部門	
3F	手術部と ICU/救急病棟にアンギオ室などの機能を隣接配置します。SCU を中心に重症病棟も配置し、高度治療部門を集約します。	
2F) 1F	2階は、来院者にとってのメインフロアとし、1階からの吹抜けを中心に外来部門を集約します。各科診察室、検査、薬剤、透析部門などを配置し、食堂、売店は受付・会計、患者支援センターに隣接配されます。 1階は、救急部と画像診断部門を一体的に集約して配置します。また、健診部門やカフェはエントランスホールから直接利用できる南側に配置しています。	

